

ルーツや文化の垣根なく「子育て仲間」として つながり・楽しむコミュニティづくり

特定非営利活動法人まるまーる（鎌倉市）

Mar
まるまーる Mar



Vision

どこで生まれても、どこで暮らしても自分らしく生きられるように。
まわりのことも大切に、リスペクトしあって生きられる世界であるように。

「異文化」による
とまどい

[日本に暮らす外国人]



「子育て」の
とまどい

[日本で子育てする外国人]
[子育てする日本人]



「ちがい」により
悩み苦しむ人が多い社会

[日本に暮らす外国人]
[マイノリティ]



子育て中の日本人・外国人がつながる・仲間になる機会づくり
ひとりひとりの「ちがい」にふれ、大切に作る機会づくり

国籍に関わらず
日本で子育て中の人

子どもたち

今・これからの社会

を、明るく・元気に、いきいきと生きやすく

私たちのアプローチ



「教える」のではなく
「共に楽しみ、悩み、
学びあい、進もう」



「多文化共生」は
みんなの「自分ごと」

「英語を話せる人がやること」
「英語を話したいからやること」ではありません。
「やさしい日本語」を使って、誰でもとりくむことができます。



「理解したつもり」ではなく、
考え続け、対話を続けられる
関係づくり

「子育て」におけるダイバーシティ・インクルージョン推進を通じ、
現在の中心世代・将来世代両方で多文化共生に貢献することを目指しています

活動内容 -1

1. 交流イベント実施

- ・日本人・外国人の子育て当事者の交流・情報交換
- ・親も子も国境・ルーツを超えて遊ぶ・交わることで
- ・不安を抱えながら子育てする人へのエンパワメントを実現

45件

のべ参加者
360名

(2016年12月-2023年6月)



2. 子育て関係情報、外国人の子育ての様子をやさしい日本語・英語で発信

- ・子育て当事者目線での、日本ならではの子育て習慣等を紹介することで子育て中の外国人の不安を解消
- ・同じ「子育て仲間」としての外国人ママの様子を発信、相互理解を促進

フォロワー数計
約500

実績を活かし、鎌倉市協働事業「外国人市民向け暮らしのガイドブック」を制作中 (2023年度発行・市役所等で配布開始予定)



活動内容 -2

3. 鎌倉市内を中心とした子育て中の外国人サポート

外国人の子育てしやすさ向上のため、個別相談、市役所等での相談同行・通訳を実施。

年平均
4件



4. 他団体と協力した多文化共生に向けた活動

- ・ 鎌倉市保健師との協働
- ・ 鎌倉市図書館との共催「図書館を楽しもう！」
- ・ 東海大学国際学部での講義
- ・ (公財)かながわ国際交流財団 多文化対応力向上講座への協力 など



むりょう

FREE

Learn to Use your Library

としょかんを たのしもう！

つかいかたを おしえます



Story time
with
Japanese
children's books

にほんの えほんの
よみきかせも
あります

これまでの活動実績

2016年	任意団体として活動開始
2020年度	(公財)かながわ国際交流財団 外国人住民子育て支援モデル事業に選定
2021/2022 年度	(公財)麒麟福祉財団「麒麟・地域のちから応援事業」として採択
2022 年3 月	(公財)かながわ国際交流財団主催「外国人住民母子保健・子育て支援フォーラム」に講師として参加
2022年7月	特定非営利活動法人設立
2022 年11月	鎌倉市図書館との共催イベント「図書館を楽しもう！」を実施
2022 年12 月	東海大学国際学部にて講義 (公財)かながわ国際交流財団「多文化対応力向上講座 子育て支援施設職員向けやさしい日本語研修」に協力(代表理事と外国人ママ4名が参加)
2023年度	鎌倉市協働事業「外国人市民向け暮らしのガイドブック制作」 (公財)アイネット地域振興財団 助成プログラムとして採択 (社福)神奈川県社会福祉協議会「ともしび基金」助成プログラムとして採択
2023年9月	(公財)かながわ国際交流財団「自治体母子保健担当職員向け多文化対応力向上講座」に協力 (代表理事・理事と外国人ママ5名が参加)

現状

鎌倉市・周辺地域は
外国人住民の割合が低く、コミュニティとつながりが希薄な子育て中の外国人の声は届きにくい

- ・運営に子育て中の外国人の参画をすすめ、さらに「インクルーシブ」に
- ・ルーツや文化の垣根なくつながる・支え合うコミュニティを体現

さらに

- ・多様なステークホルダーとの協働
- ・地道な交流・相互理解の機会づくり
- ・子育て中の外国人が社会参画する機会構築
- ・生活基盤の安定化・精神的安定性の向上
- ・やさしい日本語の活用、活動参画者の拡大



国籍に関わらず
日本で子育て中の人

子どもたち

今・これからの社会

を、明るく・元気に、いきいきと生きやすく